

◆ 今週のコメント

- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.54で、先週(3.80)と比べ大幅に減少したものの、過去5年平均値(1.86)を上回る値となっていますので、引き続きご注意ください。
- ・手足口病の定点当たり報告数は0.51で、過去5年平均値を下回る状態が続いていますが、本年のなかでは、報告数が多い状態が続いていますので、今後も動向にご注意ください。また、全国でも同様の傾向が見られます。

◆ 今週のトピックス:<腸管出血性大腸菌感染症>

- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例あり、本年の累積報告数は20例となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・今週の麻しん全数発生報告はありません。5月25日から始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む。)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 3例(肺結核 2例, その他 1例)
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症(O111 VT1) 1例
- ・五類:後天性免疫不全症候群(無症候期) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.22	132
	② ヘルパンギーナ	2.54	104
	③ 手足口病	0.51	21
	④ 水痘	0.34	14
	⑤ 突発性発しん	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
コクサッキーウイルスA3型 (2)	感染性胃腸炎, 熱性けいれん (第29週)

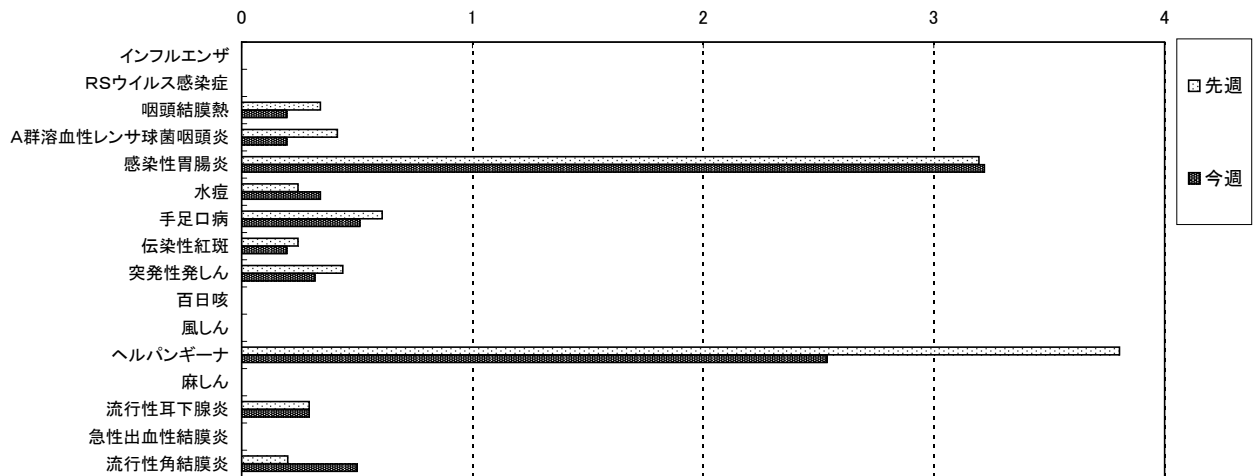
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<腸管出血性大腸菌感染症> / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

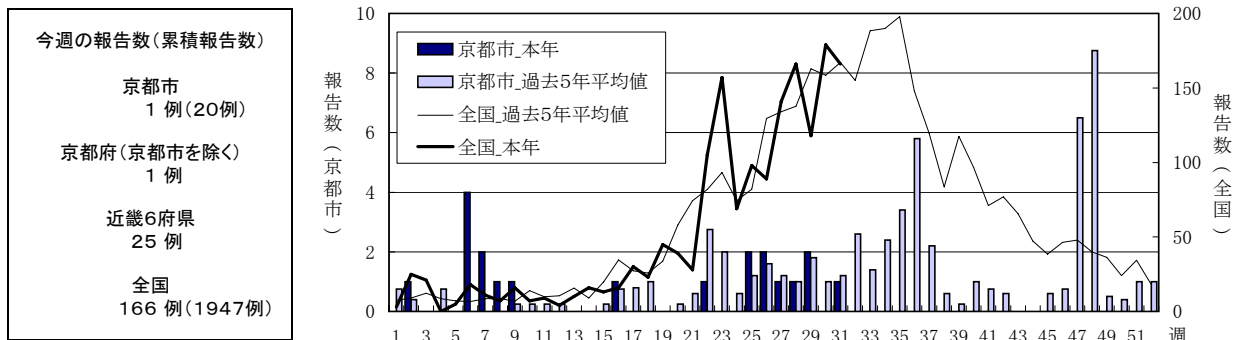
(注) 京都市のデータは、平成19年8月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第31週)と先週(第30週)の定点当たり報告数の比較

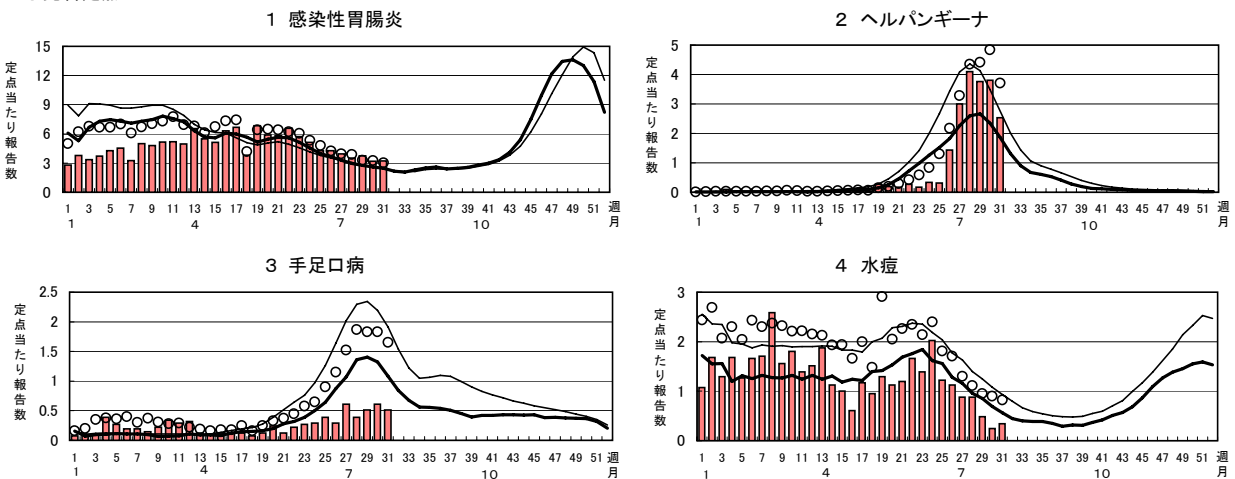


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

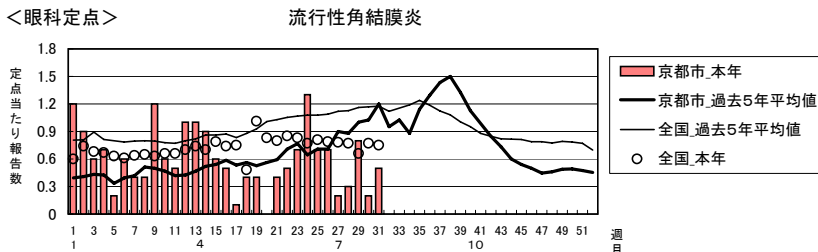


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第31週)のトピックス:〈腸管出血性大腸菌感染症〉

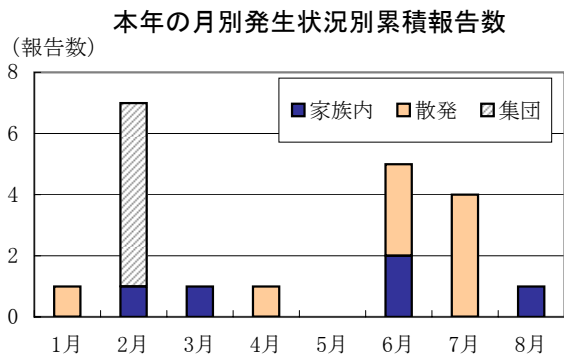
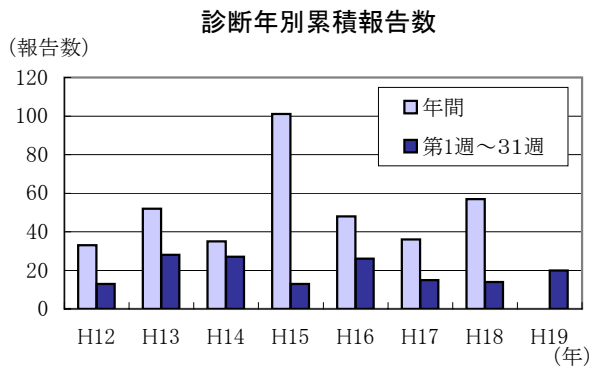
今週の報告が1例(女, 5歳, 血清型 O111)あり, 本年の累積報告数は20例となっています。平成12年以降, 同時期までの累積報告数(13~28例)と比較すると, 本年は4番目に多くなっています。

本年の発生状況を月別にみると, 6月以降, 散発, 家族内感染が続いて報告されています。8月に入り, 今後, 散発, 家族内感染増加の可能性, さらに, 集団発生へ広がる可能性も考えられますので, 動向にご注意ください。

血清型別に, 平成12年以降の発生状況をみると, 今週報告のあった「O111」は, 平成13年の1例後, 2例目の報告となっており, 本市では未だ例が少ないですが, 全国の平成17年, 18年の病原体情報では, 「O157」, 「O26」について多く, 本年は, 「O157」, 「O26」, 「O103」について多くなっています。

年齢群別に, 本年と過去(平成12~18年)の全累積報告数をみると, ともに0~9歳で最も多くなっていますが, 各年代に報告があります。

なお, 全国では, 合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)は, 小児に多く, 死亡例は高齢者に多い傾向です。



型別診断年別 累積報告数の推移

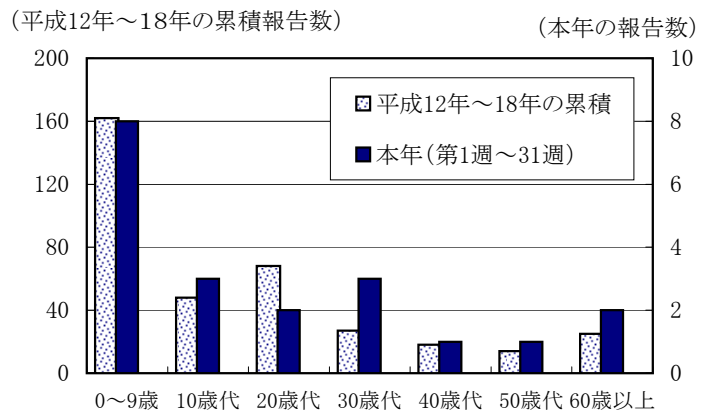
型別詳細/診断年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年 (~第31週)
O157	VT1	1					2	
	VT2	5	9	19	20	6	10	4
	VT1VT2	18	34	13	76	36	20	48
	不明	1						
O26	VT1	7	8		5	2	5	2
	VT1VT2	1						2
O111	VT1		1					1
O121	VT2					4	1	
O103	VT1			1				
その他			2			1		
合計	33	52	35	101	48	36	57	20

参考:
全国 型別検出報告数 (単位:検出報告数)

型別/検出年	17年	18年	19年 (~第31週)
O157	1,123	1,466	326
O26	358	512	49
O111	73	72	9
O121	12	14	6
O103	15	24	20
その他	74	66	14
合計	1,655	2,154	424

病原微生物検出情報より

本年及び過去の年齢群別累積報告数



京都市麻しん全数発生報告

京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から8月12日までの報告を初診週別に集計しています。

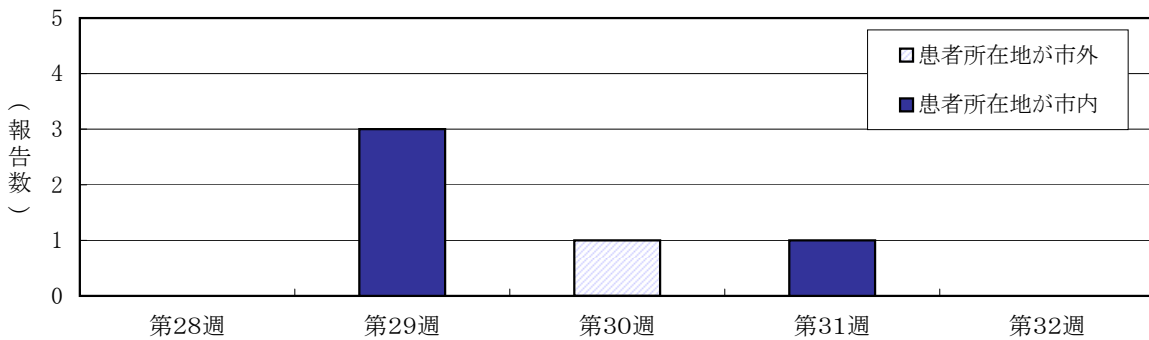
なお、今週の追加分はありませんでした。

1 推移

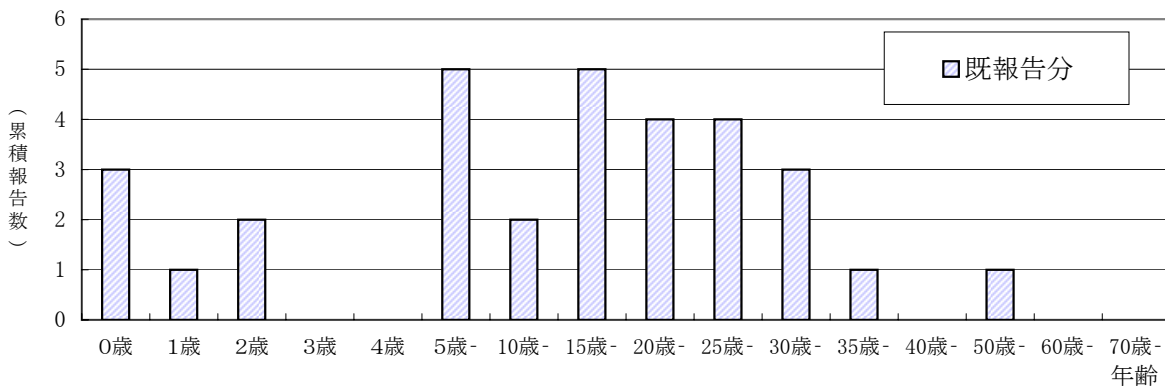
	初診週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	累積報告数 (第17週以降)
今週の追加分		-	-	-	-	-	-
既報告分		-	3	1	1	-	31
合計		-	3	1	1	-	31

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月~11ヶ月	3歳	10~14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第31週

疾病,保健所別報告数

平成19年7月30日～平成19年8月5日

データ入手日:平成19年8月13日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	2	9	1	1	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1	12	-	2	-	1	-	-	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	2	-	4	1	2	-	1	-	-	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	12	1	-	-	2	-	-	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	16	2	3	3	2	-	-	9	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	6	2	21	2	4	1	4	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	2	19	5	5	4	3	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	8	8	132	14	21	8	13	-	-	104	-	12	-	5	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	-	1.75	-	0.75	-	-	-	-	1.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	1.75	-	0.75	-	-	-	-	1.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.50	2.25	0.25	0.25	-	-	-	-	3.00	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.33	4.00	-	0.67	-	0.33	-	-	4.00	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	16.00	-	-	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.50	-	1.00	0.25	0.50	-	0.25	-	-	3.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	0.50	-	0.50	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	4.00	0.33	-	-	0.67	-	-	8.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	3.20	0.40	0.60	0.60	0.40	-	-	1.80	-	0.80	-	4.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.86	0.29	3.00	0.29	0.57	0.14	0.57	-	-	0.86	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.50	4.75	1.25	1.25	1.00	0.75	-	-	3.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.20	0.20	3.22	0.34	0.51	0.20	0.32	-	-	2.54	-	0.29	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年7月30日～平成19年8月5日

データ入手日:平成19年8月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	2	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	-	-	2	-	-	2	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		132	2	13	13	14	14	12	2	3	9	9	6	12	2	21	-	-	-	-	-	-
水痘		14	-	1	5	2	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		21	-	-	8	3	2	6	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	8	-	1	3	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		104	-	12	24	13	9	10	7	8	5	2	7	5	1	1	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		12	-	-	-	-	3	3	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	-	0.05	0.07	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.20	-	-	0.05	-	0.05	-	0.05	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.22	0.05	0.32	0.32	0.34	0.34	0.29	0.05	0.07	0.22	0.22	0.15	0.29	0.05	0.51	-	-	-	-	-	-
水痘		0.34	-	0.02	0.12	0.05	0.07	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.51	-	-	0.20	0.07	0.05	0.15	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.20	-	0.02	0.07	-	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.32	-	0.20	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2.54	-	0.29	0.59	0.32	0.22	0.24	0.17	0.20	0.12	0.05	0.17	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.29	-	-	-	-	0.07	0.07	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.10	0.10	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年8月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	1	-	-	-
咽頭結膜熱	11	10	9	10	14	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	34	18	11	17	8
感染性胃腸炎	175	162	144	154	131	132
水痘	46	36	36	20	10	14
手足口病	12	25	16	21	25	21
伝染性紅斑	6	8	13	7	10	8
突発性発しん	22	22	24	23	18	13
百日咳	2	-	-	-	-	-
風しん	-	-	1	2	-	-
ヘルパンギーナ	59	123	168	154	156	104
麻しん (※)	-	2	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	16	17	6	12	12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	2	3	8	2	5
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	370	442	450	416	395	325

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	0.02	-	-	-
咽頭結膜熱	0.27	0.24	0.22	0.24	0.34	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	0.83	0.44	0.27	0.41	0.20
感染性胃腸炎	4.27	3.95	3.51	3.76	3.20	3.22
水痘	1.12	0.88	0.88	0.49	0.24	0.34
手足口病	0.29	0.61	0.39	0.51	0.61	0.51
伝染性紅斑	0.15	0.20	0.32	0.17	0.24	0.20
突発性発しん	0.54	0.54	0.59	0.56	0.44	0.32
百日咳	0.05	-	-	-	-	-
風しん	-	-	0.02	0.05	-	-
ヘルパンギーナ	1.44	3.00	4.10	3.76	3.80	2.54
麻しん (※)	-	0.05	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.22	0.39	0.41	0.15	0.29	0.29
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.20	0.30	0.80	0.20	0.50
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	9.55	11.90	11.20	10.75	9.79	8.30

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。